

## 対応策についての進捗状況等（報告）

### 1. 救急搬送マニュアルの作成

①第一回の作業部会の開催（10/3：以後毎週水曜日・4回開催予定）

②作業部会員の構成

（医療機関）1名	奈良県立医科大学産婦人科教室助教	佐道俊幸
（医師会）1名	奈良県医師会理事	潮田悦男
（消防機関）2名	奈良県消防長会救急部会	眞井敬夫
	奈良県消防長会通信部会	辻本博文

③作業スケジュール

～10月26日原案作成 ⇒ 調査委員会へ報告（11/2）

●救急対応合同訓練 10/26～11/2の間に実施

### 2. コーディネーターの配置

①周産期等救急患者受入体制強化事業（1千万円：9月議会補正予算議決10/5）

②従事場所、OGCSと連携する奈良県の拠点病院としての機能を含めた業務内容等（医科大学附属病院と協議中）

③コーディネーターの確保（10名程度を予定：助産師、看護師等から確保するため助産師会や看護協会等を通じて呼びかけ）

●さらに、一般公募の実施（予算成立後、本日10/5より）

●業務研修の実施（3日程度）

●業務の開始（11/5～の予定）

### 3. 産婦人科一次救急体制の整備

①体制整備の考え方（検討項目）

○輪番参加病院の拡充

○開業医の出診による輪番参加病院（在宅輪番を含む）の拡充

②基本的事項（原案）の検討〔診療場所、看護師等の補助職員、出診謝金、診療報酬の扱い等〕

③輪番病院として各病院に参画要請（10/2）

●産婦人科医会に対し、出診や在宅輪番への参加要請（10/11）

●産婦人科医会・出診先病院等による作業部会の立ち上げ（10/11以降）

### 4. 未受診妊婦の調査の実施

①調査票の配付（9/27）

②調査票の回収（10/9まで）

●調査票の取り纏め（10/19の委員会へ）

※●印は、今後の取組事項